
公立中高一貫校
適性検査対策模試

フォローアップ講座
サンプル

小6復習問題 &
児童と保護者の受検情報



▼一問一答式チェック問題



次の(A)～(T)にあてはまる最も適当な言葉をそれぞれ答えなさい。

- (1) 日本の総人口は、第二次世界大戦後から増え続け、現在はおおよそ(A)億(B)百万人です。これは、(C) (13億8000万人)、インド(13億3000万人)、アメリカ合衆国(3億2000万人)、インドネシア、ブラジル、パキスタン、ナイジェリア、バングラデシュ、ロシア連邦、メキシコに次いで、世界で第11位です。しかし、2007年ごろから日本の総人口は(D)始めているため、この順位は下がり始めています。

A [] B [] C [] D []

- (2) 日本人の主食は米です。しかし、近年日本は食生活の洋風化により、(E)やパスタなど小麦を原料とするものや、卵、肉、乳製品などを多く食べるようになったため、日本人1人1日あたりの米の消費量は減り続けています。

E []



- (3) いねの原産地は、インドや東南アジアの熱帯・亜熱帯地方だと考えられており、豊富な(F)と高い(G)が必要です。そのため、日本のつゆと夏の暑い気候がいねの生育に適しており、日本では昔から米づくりがさかんでした。

F [] G []

- (4) 米づくりにおいて、特に大切なのが中ぼしです。ふつうは7月の始めごろに、田から(H)をぬぎます。これによって、根がのびて養分をよくすい取り、しっかりした根となって(I)がたおれにくくなります。

H [] I []

- (5) 人口の増加にともなって、新しい耕地を切り開いていこうとする努力は、江戸時代の中ごろからさかんにおこなわれてきました。特に、水の便が悪くてかんがいができなかったり、水はけや水もちが悪く作物が育たなかったり、土地の性質が作物をつくるのに適さない土地だったりするところには、客土をしたり、はい水路をつくったりして作物が育つような土地につくり変えていきました。このような取り組みを(J)といいます。

J []

- (6) 農作業の能率を上げるためには、大型の農業機械が使えるようにしなければなりません。そのため、1つの田畑の区画を大きくして、形も長方形に直して用水路を改修したり、農道を広げたりしています。このような取り組みを(K)といいます。

K []



▼テストによく出る説明問題

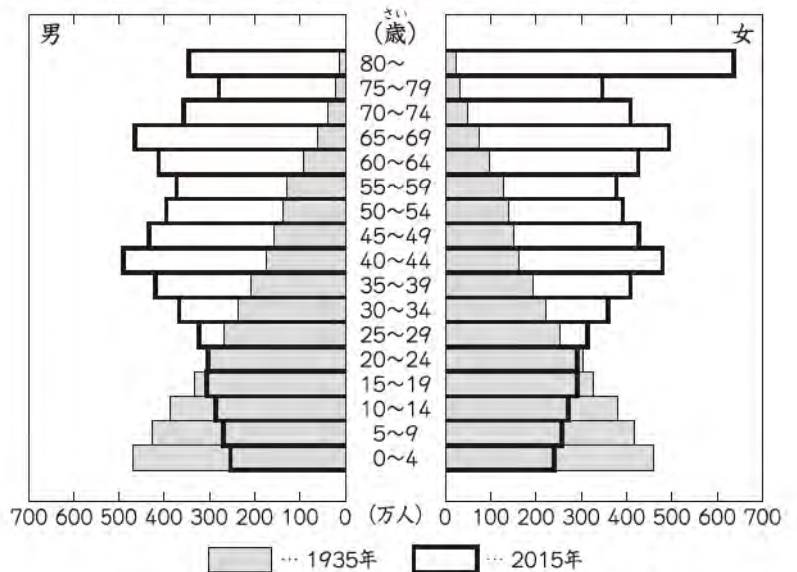


次の各問いにそれぞれ答えなさい。

- (1) 図1は、日本の1935年と2015年の年別人口をまとめたものです。これをもとにして、日本の年別人口がどのように移り変わっているかを説明しなさい。

[]

図1 日本の年別人口 (1935年・2015年)



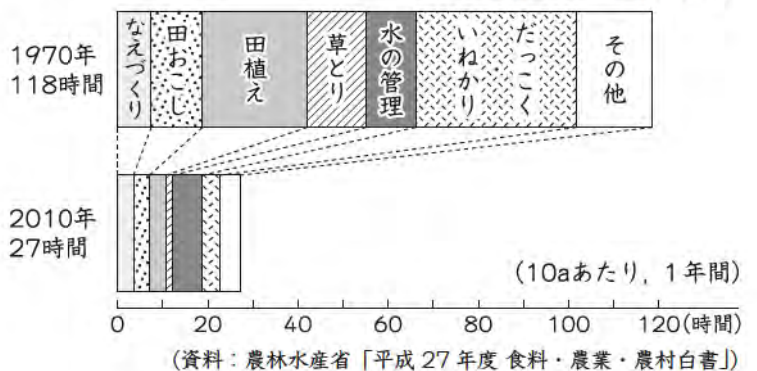
(資料:「日本のすがた 2017」)

- (2) 近年、日本では米の消費が減り続けていますが、そのおもな理由を書きなさい。

[]

- (3) 図2は、1970年と2010年の米づくりにかかる作業別労働時間をまとめたものです。これをもとにして、米づくりの作業時間がどのように変化したか、また、そのように変化した理由として考えられることをそれぞれ書きなさい。

図2 米づくりにかかる作業別労働時間 (1970年・2010年)



[変化]
[理由]

- (4) 「かんがい」とは何か説明しなさい。

[]

- (5) 土地改良の方法の一つに「客土」があります。これは何を目的にして、どのようなことをおこなうものか説明しなさい。

[]

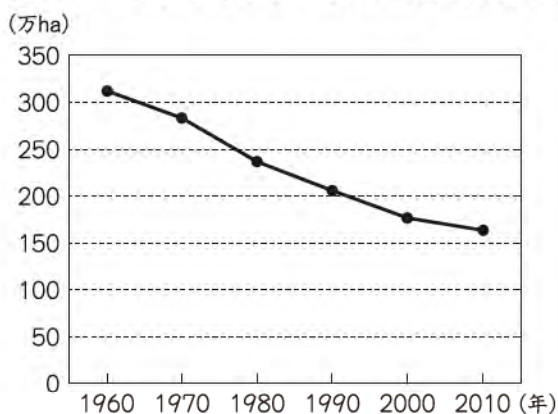
▼チャレンジ適性検査問題



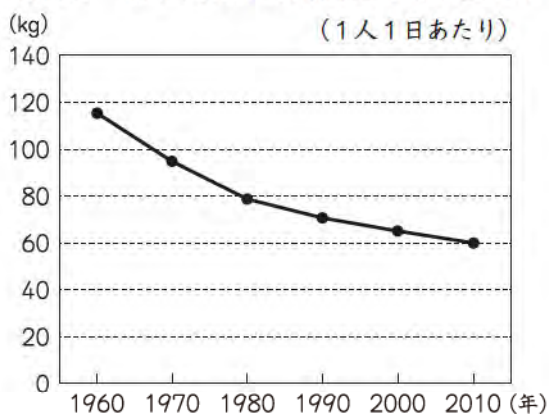
1 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

陽子さんと勇太さんは、総合的な学習の時間に米づくりについて学習をしています。田植えの体験をしたときに指導してくださった農家の山田さんから、昔は学校の周りにもっと田んぼがあったということを知りました。そこで、田んぼが減ったことについて、図書館やインターネットを利用して調べたところ、次の資料1～3を見つけました。

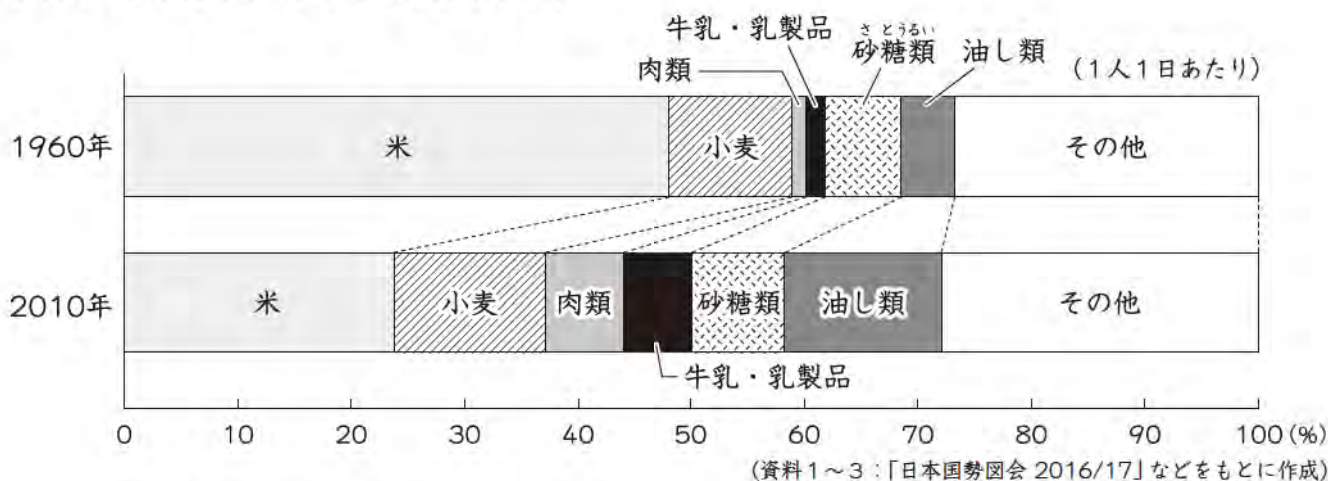
資料1 日本におけるいねの作付面積の移り変わり



資料2 日本人の米の消費量の移り変わり



資料3 日本人の食べ物の割合の移り変わり



陽子さんと勇太さんは、資料1～3を見ながら次のような会話をしました。

陽子：日本におけるいねの作付面積の移り変わりを表すグラフを見つけたよ。

勇太：いねを育てている面積が減っているね。何が原因なのかな。

〔問題1〕 資料2～3から必要な情報を読み取り、いねの作付面積が減っている原因の1つとして考えられることをまとめて書きなさい。

[]



公立中高一貫校の合格を目指して勉強を始めているみなさんに、今回は「教科書を読むことから始めよう」というアドバイスをしたいと思います。ただし、もしかすると、「教科書なんてかんたんだよ」と思っている人がいるかもしれませんね。

では質問します。小学4年の理科ではアルコールランプの使い方を学びます。小学6年生になったみなさんは、すでに学習を終えている単元です。アルコールランプを使うとき、してはいけないことを3つ答えてください。

いかがでしょうか。この問いに答えられますか。

答えは「不安定な物の上に乗せてはいけない」「アルコールランプの火で、別のアルコールランプの火をつけてはいけない」「火をつけたままで、アルコールをつぎ足してはいけない」です。これらのことはすべて教科書に書かれています。

さて、おそらくみなさんは「答えを聞けばわかる。しかし、『答えなさい』と聞かれたら答えられない」という状態ではなかったでしょうか。または、「不安定な物の上に乗せてはいけない」なんてあたりまえすぎて、わざわざ答えるべきものではないと考えたかもしれません。

しかし、公立中高一貫校入試では、「文章で説明する問題」が多く出題されており、現にアルコールランプの使い方を答える問題が出題されています。先ほどの質問に答えられなかった人は、入試本番でも得点できない可能性が高いですね。



公立中高一貫校入試はすべて、小学6年間で学ぶ学習内容を土台にしています。確かに、教科書に書かれてある内容だけで全問正解を目指すのはむずかしいですが、ここで断言できることは、教科書に書かれてある内容が理解できていない人が公立中高一貫校に合格できるほどやさしくはないということです。だからこそ、今回みなさんに「教科書を読むことから始めよう」と提案したいのです。

では、教科書を読むとポイントをもとめておきます。

ボ
か
ポイント③ 手っ取、
時間をかけてし

かければ深くならない。
教科書を100回は読みこもう。
を進めていく。
わいに読む。

かんづる

みなさんの中には、「教科書を100回は読みこもう」という人もいますが、勉強とはそもそもそういうものです。同じことを何度も何度も繰り返すことが大切です。

プロ野球選手は、ボールを投げることができるし、バットでボールを打つことができます。それなのに、試合前や練習では、必ずキャッチボールをするし、素振りもします。それと同じです。勉強もスポーツの一種です。大切なのは「深化させること」です。ポイント③にも書かれてあるように、「手っ取り早く」という考えはやめましょう。時間をかけてじっくりと教科書を読む作業をくり返していきましょう。



公立中高一貫校に合格するためには、それなりの勉強が必要です。保護者の方が強制的に勉強させたとしても、質的にも量的にも合格は無理でしょう。どうしても、「子ども自ら率先して勉強する」という姿勢に持ちこむ必要があります。そんなことは可能なかとお思いの方も多くいらっしゃるはずです。「そもそも自分が子どものとき、自ら率先して勉強した経験がない」という方も多くいらっしゃるかもしれません。

最も大切なことは、「勉強をやらされている」という感覚をできるだけ排除することです。「どうしてもこの公立中高一貫校に行きたい」と志望校合格を強く思っている子どもが合格しやすいのは、「勉強する」→「志望校に合格できる」というシナリオが描きやすいからです。つまり、「勉強をやらされている」という感覚が弱いのです。ただし、志望校が明確になっていない人もいるでしょう。そのような場合も、「勉強することで、わからないことがわかるようになるのはおもしろい」と思えば、「自ら率先して勉強を始める」というシナリオが描きやすくなるはずです。しかし、そのためには保護者の方の協力が若干必要です。

余談ですが、わたくしには小学5年になった娘がいます。先日、娘といっしょにしゃぼん玉を作って遊びました。しゃぼん玉は水と界面活性剤を混ぜ合わせたもので、その割合によって出来が変わってきます。くわしくはお子様といっしょに図書館やインターネットなどで調べて頂きたいと思うのですが、結局のところ、表面張力をいかにコントロールするかが大切になってきます。ここまでくると、ただのしゃぼん玉の遊びが立派な理科実験です。

しゃぼん玉が公立中高一貫校入試に関係があるのかとお思いかもしれませんが、青森県立三本木高等学校附属中学校の2009年度入試で、しっかり「割れにくいしゃぼん玉を作るための実験計画」が出題されています。何が出題されるかわからないのが公立中高一貫校入試です。



(イメージ)

お子様といっしょにスーパーマーケットへ行けば、それは立派な算数の勉強です。たとえば、98円のお菓子を1個買うと、 $98 \times 1.08 = 105.84$ (円) ですから、「消費税は切り捨て」という原理原則に従えば、レジでの支払い額は105円です。しかし、98円のお菓子を2個買うと、 $98 \times 2 \times 1.08 = 211.68$ (円) となり、レジでの支払い額は212円です。多くごみに1円余計に消費税を支払う羽目になりました。

先日、家族で回転寿司を食べたときに「税別で3000円以上のご飲食の方に限り、20%オフ」というイベントがあったのですが、3000円以下の飲食しかしなかったときよりも安くなる場合がある。

3月下旬には、冬用タイヤを交換しました。車体を持ち上げるために使用するジャッキは、この原理を利用しています。ジャッキが壊れたら、この作業は実に楽しそうでした。ジャッキが壊れたら、この作業は実に楽しそうでした。

勉強は机上の空論ではなく、日常生活と密接に関わり合っています。気づけば、「わからないことがわかるようになるのはおもしろい」と感じてくれるかもしれません。こうしたことの積み重ねが、「自ら率先して勉強を始める」きっかけになるのだと思います。